

P422

FAIRUZ



The Vintage Resonance EQ That Never Existed

User Guide

Version 1.0

Preface

Fairuz [ファイруз] は、フランス語の「pierre tourques (トルコ石)」に由来するアラビア語でトルコ石を意味します。この魅惑的な宝石は、その美しい青緑色の色合いで高く評価され、13 世紀にシルクロードを經由してトルコの商人によってヨーロッパに紹介されました。その豊かな歴史、神秘的な結びつき、そして永続的な美しさが、知恵、バランス、コミュニケーション、そして芸術的なインスピレーションの象徴として広く認識されてきました。

古代ペルシャ人は、トルコ石が害を防ぐと信じ、護身のためにその短剣や馬具をトルコ石で覆いました。彼らはトルコ石を「pirouzeh (勝利)」と呼びました。ネイティブアメリカンのアパッチ族は、トルコ石を護符として身に着け、武器や弓に付けることで照準が良くなると信じていました。アステカの首長たちは、権威の象徴としてトルコ石の宝飾品を身に着けていました。

トルコ石の歴史的意義と文化的影響にインスパイアされて、P422 Fairuz は、音響処理の分野でこの石の超越的な特徴を体現することを目指しています。トルコ石がその強化と保護の能力で評価されるように、P422 Fairuz は、EQ をかけている楽器の自然な共鳴と豊かさを引き出します。極端なブーストやカットを行っても、音の整合性が保たれます。

P422 Fairuz は、多機能でチャンネルに特化したプロポーショナル EQ です。各ステップ周波数ポイントは、内包するスイートスポットのために耳で調整されており、パワーユーザー向けにバンドを連続操作に切り替えるオプションも提供されています。バンドは、ピークまたはパンチ (プッシュ/プル) カーブのいずれかに設定できます。Fairuz は、どのハードウェアデザインも模倣せず、既存のハードウェアイコライザーの制約や音響制限から解放されたオリジナルデザインです。各周波数およびゲインポイントは、Fairuz が提供する音を正確に再現するために慎重に構築されています。

Ziad Sidawi

Audio Equipment Designer & CEO

Pulsar Novation LTD

プリセットブラウザ

Options Menu
About / License Status / User Guide / Options and Preferences

Low Pass Filter
12 dB/oct - LED インジゲータで無効/有効

MIX
処理された (Wet) 信号と未処理の (Dry) 信号をブレンド

Band Filter Frequency
各バンドに対して選択可能な中心点
プロポーショナル Q。LED をクリックして有効無効

Band Filter Gain
各バンドで利用可能な 12 dB のブーストまたは減衰

VOICE
楽器固有の音楽的コンテキストに合わせて全体的な音質プロファイルを変更

Step / Continuous Frequency
各バンドに対して利用可能なステップ式 (インジゲーター点灯) または連続的な周波数とゲインオプションの切り替え

OUT
クリーンアウトプットゲイン

RMS or PEAK IN / OUT
RMS またはピークの入出力計測モードをクリックして切り替え

Punch X1 / Punch X2 / Peak Filter Shape
各バンドに対して利用可能な 2 つの Push/Pull Punch テクニックフィルター、またはデフォルトのピークフィルターの切り替え

High Pass Filter
12 dB/oct - LED インジゲータで無効/有効

TREMOR
振幅と周波数を組み合わせた制御
範囲は 0.00 から 1.00

SHELF Filter Frequency
ベル型補完曲線を持つスムーズなシェルフフィルター
各シェルフに対して LED シェルフインジゲーター

SHELF Filter Gain
各シェルフに対して利用可能な -0.50 から 1.00 までの範囲ベースのゲイン調整

極性反転

Bypass





Save
現在のインスタンスのサイズと位置を保存

OS
ハンマーサーキットでオーバーサンプリング
サンプルレートは最大で 88.2 kHz まで

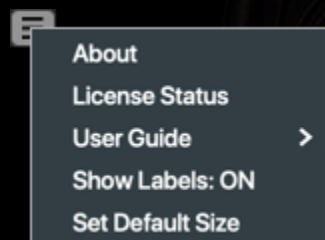
Hammer
さらに追加された VOICE 連動トランス

Force Mono
ステレオ DAW での強制的なモノラル処理

A/B 比較

  Default   プリセットブラウザを使用して、プリセットの参照、読み込み、保存を行います。左側の保存アイコンをクリックして現在のプリセットに上書き保存するか、右側の保存アイコンで新しいプリセットを作成します。左側の保存アイコンの横に赤いアスタリスク * が表示されると、プリセットが元のパラメーターから変更されたことを示します。

注意：ソフトウェアを更新する際に、インストールプリセットのオプションを選択解除しない限り、変更された工場出荷時のプリセットは上書きされます。提供されたプリセット名と異なる名前のユーザー作成のプリセットは、置き換えや削除されることはありません。



Options Menu

About – バージョン番号またはデモの有効期限を確認できます。


License Status – ソフトウェアを認証または認証解除します。このアクションにはインターネットが必要です。


User Guide – PDF ユーザーガイドを開きます。


Show Labels – コントロール上にマウスカーソルをホバーしたときに表示されるディスプレイボックスを表示 (ON) または非表示 (OFF) にします。OFF にした場合でも、

SHIFT キーを押しながらコントロール上にマウスカーソルをホバーすると値が表示されます。

Set Default Size – 現在の P422 GUI のサイズをデフォルトサイズとして保存し、新しい P422 インスタンスを挿入する際に使用します。


 Bypass は入力信号を処理せずに通過させます。

 Polarity は入力信号を反転させます。

 Hammer は VOICE 回路に接続された追加のトランスです。これにより、低域が引き締まり、信号に追加の倍音成分が加わります。

ハンマーが有効になっている場合、VOICE 回路に対する調整は、上記の特性に従って周波数応答がより大きく変化します。

ヒント：Fairuz はサチュレーションユニットとして利用できません。すべてのEQバンドをオフにし、すべてのバンドゲインを最大にし、VOICE を 100 にしてハンマーをオンにします。MIX トリムポットを使用してサウンドをドライ信号とブレンドします。

 Force mono option は DAW でモノソースを2つの同一ステレオチャンネルとして表現する場合、フォースモノオプションが有効です。

アイコンがグレーの場合、フォースモノオプションはオンです。

A B **→** **B** A/B 機能は、異なる設定を一時的に保存して素早く比較することができます。矢印ボタンを使うと、アクティブな側の設定を非アクティブな側にコピーすることができます。

ヒント： A/B ボタンをクリックすると切り替えができます。このボタンは 1 つなので、マウスを動かして交互に切り替える必要はありません。どちらが選択されているかを知らなくても比較が容易です。集中力を最大限にするために、目を閉じた状態で行うことをお勧めします。

注意： プリセットを保存する際、選択されている A/B スロットのアクティブなパラメータのみが保存されます。逆のスロットは保存されません。



MIX トリムポットは、処理された WET 信号に未処理の DRY 信号をブレンドします。

キーボードの CTRL + ALT (Windows) または CMD + OPTION (macOS) を押しながら、マウスオーバーすることで一時的にバイパスします。

キーボードの CTRL + ALT (Windows) または CMD + OPTION (macOS) を押しながら、マウスをこのコントロールに位置させることで一時的にバイパスします。



ローパスフィルターには、12 dB/oct の 2 極フィルターが搭載されています。

周波数選択スライダーの上にある LED インジケータをクリックして、有効または無効にします。



各プロポーショナル Q の EQ バンドは隣接するバンドと重なり合い、相互作用します。LOW バンドは TREMOR とも相互作用します。



周波数選択ノブの上の緑色または青色の LED を利用して、EQ バンドを有効または無効にします。EQ バンドを有効にすると GAIN が 0 dB でも Fairuz の特徴的なサウンドが導入されます。

マウスをこのコントロールの上に置いた状態で、キーボードで CTRL + ALT (Windows) または CMD + OPTION (macOS) を押すことで一時的にバイパスします。バンドを無効にするのとは異なり、これは完全なバイパスで、オペアンプの飽和も含まれます。



注意：個別にバイパスした場合、バンドの特性は引き続き処理されますが、ゲインは 0 dB です。つまり、特定の周波数を 12 dB ブーストした後にそのバンドをバイパスすると、その周波数には依然として 12 dB のオペアンプの飽和が適用されますが、出力は 0 dB のゲインのままです。



各 EQ バンドには、周波数選択ノブの右側にある +/- 12 dB のゲインスライダーが付いています。



ハイパスフィルターには、カットオフポイントでの中程度の共鳴ピークを強調する 12 dB/oct の 2 極フィルターが搭載されています。各 EQ バンドには、周波数選択ノブの右側にある +/- 12 dB のゲインスライダーが付いています。

マウスをこのコントロールの上に置いた状態で、キーボードの CTRL + ALT (Windows) または CMD + OPTION (macOS) を押すことで一時的にバイパスします。

周波数選択スライダーの上にある LED インジケータををクリックして、有効または無効にします。

ヒント：レゾナントピークをさらに強調するには、TREMOR を増やしてみてください。この組み合わせは、大きくてパワフルながらもタイトでコントロールされた低音を同時に実現します。

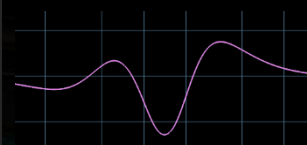


Punch X1/Punch X2/Peak Selector は、各バンドのフィルター形状の選択を提供します。利用可能な選択肢は以下の通りです：

- Punch X1：Punch X1 フィルターは、中心周波数でピークフィルターを使用し（push）、音楽的に適切な補完周波数で逆の調整を自動的に行います（pull）。
- Punch X2：Punch X1 の拡張版で、振幅が 2 倍になります。
- Peak：Peak フィルターは、滑らかで自然で音楽的なブーストやカットにプロポーショナル Q を使用します。ブーストまたはカットが増加すると、スロープは急で狭くなります。

点灯している LED シンボルは選択されているオプションを示します。

注意：Push/Pull は、クリーンでコントロールフォーカスされたパンチを作成するための名高いフィルタリング技術です。通常、個別の周波数とゲインオプションを持つ 2 つの別々のフィルターが使用されます。柔軟性がある一方で、これにより設定の調整に混乱や迷いが生じ、作業時間が失われることがあります。Fairuz は効率的かつ美しい設計を目指しており、理想的な値が自動的に適用されます。



ヒント：望ましくない周波数を減少させつつ、必要な周波数を失わないためには、Peak フィルターの減衰を利用してPunch X1/X2 フィルターをブーストさせると良いです。Fairuz の 1 つのインスタンスでPeak フィルターの両側にPunch X1/X2 バンドを配置するか、Punch バンドをより柔軟に扱うために別のインスタンスを使用することができます。この技法は、望ましくない共鳴やホイッスルをターゲットにして減少させ、周囲の周波数を強調します。



各バンドの周波数とゲインの選択肢には、ステップ式と連続式があります。

各ステップ周波数ポイントと各ゲインポイントは、Fairuz のデザイナーの耳によって特別に調整されたスイートスポットです。必要に応じて、より柔軟なコントロールを得るために連続モードに切り替えることができます。

LED インジケーターが点灯している場合、ステップオプションが選択されています。それ以外の場合は、連続オプションが選択されています。

注意：Fairuz は内部的には連続的な設計を基にしていますが、特定の音楽性と楽器の自然な共鳴をさらに引き立てる能力を持つステップが選ばれています。ステップ選択肢は、連続モードでは利用できない精度を持っています。例えば、ステップポイントは小数点以下の値である場合がありますが、連続モードでは整数の周波数ポイントが使用されます。



VOICE 回路は、周波数固有のヘッドルーム制約を適用し、オーディオ信号を内部の天井に押し付けたり引き戻したりすることで、全体の音質に影響を与えます。

VOICE を時計回りに回すと、全体のトーンがより攻撃的になり、中音域に焦点を当てたプレゼンスと密度が増し、より狭い空間感覚が生まれます。VOICE を反時計回りに回すと、全体のトーンがよりリラックスした深みのあるものになり、より広がりのある空間感覚が増します。

マウスをこのコントロールの上に位置させた状態で、キーボードで CTRL + ALT (Windows) または CMD + OPTION (macOS) を押すことで一時的にバイパスできます。



OUT ノブは最終出力段階でクリーンなデジタルブーストまたはカットを提供します。

ラベルのどちらかをクリックすることで、RMS (平均二乗平方根) または PEAK IN / OUT メータリング間を切り替えます。

RMS メータリングと PEAK メータリングは、オーディオ信号レベルを測定するための異なる方法であり、信号の異なる側面を示します。



PEAK メータリングは信号の瞬時の最高レベルを特定することに焦点を当てていますが、RMS メータリングはより平均化された持続的な測定を提供

し、時間とともに信号の知覚される音量をより良く表現します。

注意：プリセットを保存する際に選択されているRMS または PEAK オプションが保存されます！



TREMOR は聞こえるよりも感じられると表現される低周波領域を占めています。

TREMOR スライダーは、回路の周波数と振幅の両方を制御し、スライダーを右に移動するとゲインと周波数位置の両方が増加します。

マウスをこのコントロールの上に位置させた状態で、キーボードで CTRL + ALT (Windows) または CMD + OPTION (macOS) を押すことで一時的にバイパスできます。

ヒント：TREMOR をハイパスフィルターと組み合わせて、低音の力強さとタイトさの両方をコントロールしてみてください。



LO SHELF フィルターと HI SHELF フィルターは超スムーズな曲線を持ち、LO SHELF には補完的なディップが続き、HI SHELF にはその前にディップがあります。

このディップは曲線への移行を自然に滑らかにし、ブーストやカットを際立たせます。これにより、微調整でも音声に自然な響きと深い影響を与えることができます。

一方で、これらのフィルターはソース信号との自然な統合感とリスペクトを保ちながら、強くプッシュするように設計されています。従来の教えを忘れ、自由に実験してみてください。

マウスをこのコントロールの上に位置させた状態で、キーボードで CTRL + ALT (Windows) または CMD + OPTION (macOS) を押すことで一時的にバイパスできます。LEDインジケータをクリックして有効または無効にすることもできます。

Managing Presets

Basics

インストール中にプリセットのインストールオプションを選択解除しない場合、インストーラーは工場出荷時のプリセットを上書きします。ユーザーが作成したプリセットは変更されません。工場出荷時のプリセットに加えた任意の変更を保護し、アップデート中にそれらを保存するためには、インストーラーを実行する際にプリセットのインストールオプションを選択解除するようにしてください。また、プリセットブラウザの右側にある「名前を付けて保存」オプションを使用して、独自のプリセットを異なる名前で保存することを忘れないでください。

Backing Up Presets

プリセットは、オペレーティングシステムのファイルマネージャーを使用してバックアップおよび復元することができます。単一のプリセットファイルまたは全プリセットフォルダーを、選んだバックアップ場所にコピー&ペーストするだけです。プリセットフォルダーは以下の場所にあります：

For Windows

'C:\Users\Public\Documents\Pulsar Modular\P422 Fairuz\Presets'

For macOS

'/Users/Shared/Pulsar Modular/P422 Fairuz/Presets'

General

Mouse and Key Modifiers

Fine adjustment of knobs, sliders and other controls (ツマミ、スライダー、およびその他のコントロールの微調整)

macOS ではコントロール (^)、Windows では CTRL キーを押しながら左クリックしてドラッグします。または、キーモディファイアーなしで右クリックしてドラッグします。

Return controls to their default state (コントロールをデフォルトの状態に戻す)

macOS では Option (⌥) キーを押しながら左クリックします。Windows では ALT キーを押しながら左クリックします。または、キーモディファイアーなしでダブルクリックします。

Temporarily bypass one or more parameters (一時的に 1 つ以上のパラメータをバイパスする)

macOS では Command + Option (⌘ + ⌥)、Windows では CTRL + ALT キーを押しながら、バイパスしたいパラメータの上にマウスカーソルを移動します。キーモディファイアーを解除してバイパスされたパラメータを再度有効にします。これは、全ての EQ バンド、シェルフ、HP フィルター、LP フィルター、VOICE、TREMOR に適用されます。

Enable parameters for automation (Pro Tools only) パラメータを自動化するために有効にする (Pro Tools のみ)

macOS では Control + Command + Option (⌘ + ⌥ + ⌘)、Windows では CTRL + ALT + START (⏻) キーを押します

Uninstalling P422 Fairuz

For Windows

- VST3 : 「C:\Program Files\Common Files\VST3」 で 「P422 Fairuz.vst3」 ファイルを見つけて削除します。
- AAX : 「C:\Program Files\Common Files\Avid\Audio\Plug-Ins」 で 「P422 Fairuz.aaxplugin」 フォルダを見つけて削除します。
- 共有 : 「C:\Users\Public\Documents\Pulsar Modular」 で 「P422 Fairuz」 フォルダを見つけて削除します。このフォルダにはユーザーガイドとプリセットが含まれています。「Pulsar Modular」の下に他のフォルダが存在しない場合は、これも削除できます。

For macOS

- AU : 「/Library/Audio/Plug-Ins/Components」 で 「P422 Fairuz.component」 ファイルを見つけて削除します。
- VST3 : 「/Library/Audio/Plug-Ins/VST3」 で 「P422 Fairuz.vst3」 ファイルを見つけて削除します。
- AAX : 「/Library/Application Support/Avid/Audio/Plug-Ins」 で 「P422 Fairuz.aaxplugin」 フォルダを見つけて削除します。
- 共有 : 「/Users/Shared/Pulsar Modular」 で 「P422 Fairuz」 フォルダを見つけて削除します。このフォルダにはユーザーガイドとプリセットが含まれています。「Pulsar Modular」の下に他のフォルダが存在しない場合は、これも削除できます。

Restrictions

ユーザーは、PULSAR NOVATION LTD のオーディオプラグインを逆アセンブル、分解、再サンプリング、インパルスレスポンスプロファイルの作成または再録音、逆コンパイル、全体または一部の修正、変更することを禁じられています。これらの行為は、賃貸、リース、配布、利益を目的とした再パッケージングを意図したものであっても、一切許可されません。絵画をコピーすることは、人を画家にしません。

DSP Engine Design: Ziad Sidawi
Plugin Development: Pulsar Modular Team
GUI Development: Max Ponomaryov / azzimov GUI design – www.behance.net/azzimov
User Guide (EN): Kevin Eagles
User Guide (JA): Naruki Konagaya

Testers: Leo Alvarez Gus Granite Mark Pixley
Liam Black Matthew Gray Niklas Silen
denork Naruki Konagaya Hilton Stroud
Kevin Eagles Matthias Klein

Special Thanks: Durk Diggler

Please kindly report any errors or omissions in this user guide to psupport@pulsarmodular.com.

To print this guide, we recommend using a free pdf color inversion service like <https://invert-pdf.club>.

Copyright 2024, Pulsar Novation Ltd.

P/N: 13124, Rev. 1.0

Pulsar Modular is a registered trademark of Pulsar Novation Ltd.

P422 Fairuz is a plugin name owned by Pulsar Novation Ltd.

AAX and Pro Tools are trademarks of Avid Technology. Names and logos are used with permission.

Audio Units is a trademark of Apple, Inc.

VST is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.

Pulsar Novation Ltd.

Demircikara District, 1419 Street, Ocean City Block B, Floor 4

Muratpaşa, ANTALYA 07100 +90-530-111-4907

www.pulsarmodular.com